

プロローグ イエスの死

西暦33年4月3日 真昼であるというのに陰鬱な雲が一面に厚く広がり、日の光が全く閉ざされていた。エルサレムのゴルゴタの丘に3人の罪人が刑柱に架けられていた。3人の内の1人の頭上には「ユダヤ人の王イエス」という掛札さえかけられていた。わずか数日前にエルサレムの住民によって、メシアとして歓迎された人物であった。どうしてその人が刑柱に架けられなければならなかったのか、兵士は当惑していた。

3時頃その人は「成し遂げられた」と語ったのち息を引き取った。兵士はその人が亡くなったのを確かめるために、脇腹に槍を刺し通した。肺にたまっていた体液と血液が一気に流れ出して地に注がれたその時である。今まで経験したことがない大きな地震がエルサレムを襲った。兵士は陰鬱な空と大地震によってまさにその人物が間違いなくメシアであると確信した。しかしメシアがなぜ死ななければならなかったのか理解できなかった。

なぜ死んだのか。

イエスはメシアとして登場したのになぜ死ななければならなかったのでしょうか。

イエスはそのことを簡潔に述べて次のように語りました。

「人の子（イエス）も、仕えてもらうためではなく仕えるために、また多くの人と引き換える贖いとして自分の命を与えるために来しました。」
(マタイ 20:28)

「多くの人と引き換える贖い」とは何でしょうか。贖いとは ^{あがな}代価 あるいは **身代金** という意味で 最初の人類が持っていた完全な命を取り戻すための代価として イエスの命が支払われたことを意味しています。

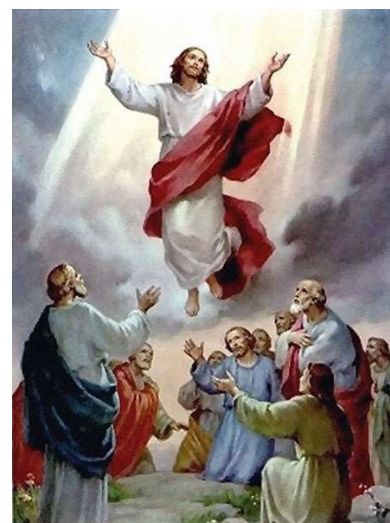
そのことによって何が成し遂げられるのでしょうか。

パウロは次のように述べてその意味について説明しています。

「1人の人（最初の人アダム）によって人類に罪が入り、罪によって死が入り、こうして、全ての人々が罪人になったために、死が全ての人に広がったように――1人の人（イエス・キリスト）の死によって、イエスに信仰を働かせる人の罪が許され、真の命を持つことが出来るようになりました。」
(ローマ 5:12-21)

イエスは死後3日目によみがえり、天に昇られました。再び地に来られると語っておられますが、どのようになるのでしょうか。聖書は次のように述べています。

エホバの日が来るのを待ち望み、それについていつも考えましょう。その日に天は燃えて滅び、さまざまの要素は極度の熱で溶けます。しかし、私たちが神の約束によって待ち望んでいる、新しい天と新しい地があります。そこには正義が行き渡ります。
(ペテロ② 3:12-13)



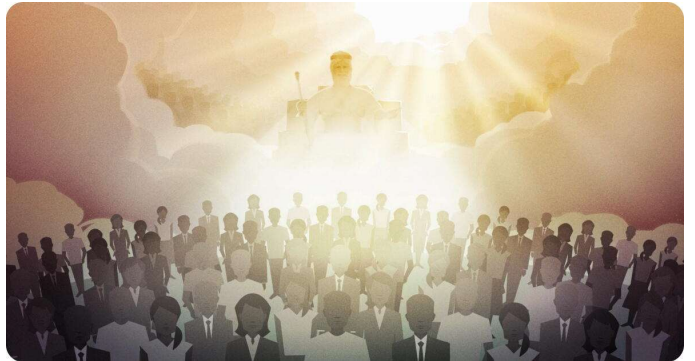
メシアの2回目の到来は裁きの時となります。メシアは文字通り王として全地を治め、人類を罪から解放していきます。

罪が許される結果

罪があがなわれ許される結果、人は徐々に最初の人類が持っていた完全さを取り戻していきます。

イエスの支配下でどのように社会は変化するのでしょうか。

最上位にいるのが神エホバです。王イエスの下に14万4千人という多数のクリスチャンが天の統治機構を構成します。地上ではその意を受けた忠実なクリスチャンが君として立てられ、地上を統治します。優秀な人々が官僚となり、イエスの手足となって人々の福祉を図るシステムが出来上がります。



憲法となるのが聖書です。

聖書に基づく教育が行われるようになります。

聖書の教育によって人々はどのように変化していくのでしょうか。

1、愛と平和が満ちる。

教育によって人は作られていきます。

聖書に基づく平和教育によって人は変化し、穏やかで平和な状態を楽しむことが出来ます。

次のように預言されています。

私の聖なる山のどこにも、
荒らしたり危害を加えたりするものはいない。
水が海を覆っているように、
エホバについての知識が必ず地上に満ちるからである。
(イザヤ 11:9)

人格の変化がみられるようになります。

次のように諭されています。

憤り、怒り、悪い行い、暴言、口から出る下品な言葉を捨て去りなさい。
互いにうそをついてはなりません。古い人格とそれに伴う習慣を脱ぎ捨て、
新しい人格を身に着けましょう。
温かい思いやり、親切、謙遜さ、温和、辛抱強さを身に着けましょう。引き
続き互いに我慢し、寛大に許し合いましょう。たとえ誰かに不満を感じると
してもです。エホバが寛大に許してくださったのですから、同じようにしな
ければなりません。
これら全てに加えて、愛を身に着けましょう。愛は完全な絆なのです。
(コロサイ 3:5-14)

2、武器が廃され真の平和を楽しむ

様々な武器が廃され真の平和な状態を楽しむことが出来ます。

次のように予告されています。

神は国々の中で裁きを下し、

多くの人々を正しい方向に導く。
彼らは剣をすきに、
やりを鎌に作り替える。
国は国に向かって剣を振り上げず、
彼らはもはや戦いを学ばない。
(イザヤ 2:4)

神は地上の全ての場所で戦いを終わらせる。
弓を折り、やりを砕き、
兵車を火で焼く。
(詩編 46:9)



今日武器のためにどれほどの資金が費やされているか
ご存知でしょうか。

220兆円に及ぶそうです。

それが民生のために使われるなら、素晴らしい社会が誕生するのではないでしょう
か。

3, 健康

誰でも病気になりますが、人間本来のありさまは病気に対処する仕組みがあるので
容易に病気になりません。
完全になるなら病気から解放されることを期待できます。
実際聖書は次のような約束をしています。

「私は病気だ」と言う住民はいなくなる。
その土地に住む人々は罪を許されているからだ。
(イザヤ 33:24)

「神が来てあなたたちを救う」。
その時、目が見えない人は見えるようになり、
耳が聞こえない人は聞こえるようになる。
その時、足が不自由な人は鹿のように跳びはね、
口が利けない人は歓声を上げる。
(イザヤ 35:4-6)

4, 若さ

日本は世界で1、2を争う長寿国で人生100
年時代といわれています。

豊かで平和になるなら人々の寿命が延びるこ
とが期待されます。実際聖書の中にも寿命が
延びることが示されています。

「そこには、数日しか生きない乳児も、
寿命を全うしない老人もいなくなる。
100歳で死んだ者も少年と見なされるの
である。」
(イザヤ 65:20)



5, 命

最終的に人類は最初の人類が持っていた完全さに到達します。

老化、罪、死から完全に解放され真の命を楽しむことが出来るようになります。

とても信じられないと思われませんか。

確かにそれが完全に成し遂げられるために、1000年の長い時が必要ですが、神の

約束は必ず果たされます。
次のように確かに約束されているからです。

神は死を永久にのみ込む。
主権者である主エホバは全ての顔から涙を拭う。
ご自分の民に対する非難を全世界から除き去る。
エホバご自身がそう語ったのである。
その日、彼らはこう言う。
「これが私たちの神だ！
希望を抱いてこの方を待ってきた私たちを、
神は救ってくださる。
これがエホバだ！
私たちは希望を抱いてこの方を待ってきた。
歓喜し、神による救いを喜ぼう」。
(イザヤ25:8.9)

神がキリストに全ての敵を踏みつけさせるまで、キリストは王として治める
のです。そして最後の敵である死が除き去られます
(コリント① 15:25-26)

その時、王座から大きな声がした。「見なさい！ 神の天幕が人々と共にあり、
神は人々と共に住み、人々は神の民となります。神が人々と共にいるよ
うになるのです。神は人々の目から全ての涙を拭い去ります。もはや死はな
くなり、悲しみも嘆きも苦痛もなくなります。以前のものは過ぎ去ったので
す」。
(啓示 21:3-4)

素晴らしい将来が待ち受けていると言えるのではないのでしょうか。

日本も戦前は軍国主義で各地を侵略し、悪魔の手先となっていたと言えます。
しかし戦後日本は平和国家に変貌し、豊かさと平和を享受してきたのではないで
しょうか。
世界も同様に変化していきます。

真の神が治め、キリストの下に一致する時、世界はなんと変化するのでしょうか。
私たちはそれを心から待ち望むことができます。

それを可能にしたのは キリストの犠牲があった故であることを忘れないようにし
ましょう。
そのことを聖書は次のように述べています。

神は、自分の独り子（イエス）を与えるほどに人類を愛したのです。そのよ
うにして、独り子に信仰を抱く人が皆、滅ぼされずに永遠の命を受けられ
るようにしました。神が自分の子を世に遣わしたのは、彼が世を断罪するた
めではなく、世が彼を通して救われるためです。
(ヨハネ 3:16-17)